

伝統の技 めっきの匠が問題解決! 各種試作品1個から。

最先端の技 カスタムラインに環境対応型 3箇クロムめっき導入!

SHINKOSYA

めっきの可能性をあらゆる素材・産業へ

http://www.shinkosya.co.jp

株式会社 真工社

本社工場 〒336-0032 埼玉県戸田市末木東2-2-4 TEL: 048-421-9833 FAX: 048-421-8009 E-MAIL: info@shinkosya.co.jp
 幸手工場 〒340-0121 埼玉県幸手市上宮前2100-17 TEL: 0480-48-2092 FAX: 0480-48-2099
 大宮工場 〒331-0811 埼玉県さいたま市北区吉野町2-285-7 TEL: 048-661-6100 FAX: 048-661-6107

復活 節電対策に最適な 射出成形機ベント式ユニット

各社、既設ノベント式射出成形機の可塑化部をベント式にチェンジ!

ベント式のメリット

- 乾燥工程が不要……原料管理が簡素化され、生産効率が向上します。
- 節電・コスト低減……乾燥不要による節電、成形不良低減が図れます。
- 品質・物性の向上……水分・モノマー・揮発分を完璧に除去します。
- モールドデブリの減少……金型メンテが大幅に延長できます。
- 樹脂替え……時間と原材料ロスを大幅に低減しました。
- ベントアップ……ベント口から原材料の吹き出し防止を確立しました。

NIHON YUKI 独創技術のコンサルテーション

株式会社 日本油機

〒252-0203 神奈川県相模原市中央区東淵野辺 4-2-2
 TEL.042-757-6681 FAX.042-757-6683
 http://www.nihon-yuki.co.jp

微量の充填材で 新たな性能・機能

気相法炭素繊維を充填 流動性確保しつつ高機能化

一例として、図1に各種炭素繊維(CF)の走査型電子顕微鏡(SEM)写真を、図2に各種CFを充填したポリブチレンテレフタレート(PBT)系複合材料の摩擦係数と繊維充填量の関係を示す。工業的に一般に用いられているポリアクリロニトリル(PAN)系やピッチ(Pitch)系、系(CF)を充填した系では体積分率が10%と多量に充填しなければ、CFの改善が認められないが、CNFの一種である気相法炭素繊維(VGCFやVGCF-S)では逆の傾向を示し、微量添加でμが低下する傾向を示す。これにより流動成形に必要な流動性は確保しつつ、高機能化が図れることが分かる。

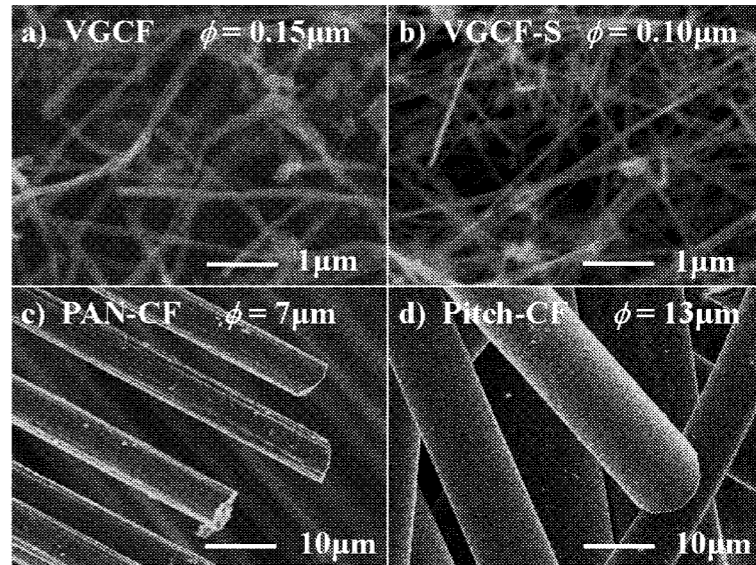


図1 各種炭素繊維のSEM写真

重要であるが、製品として利用する場合に、強化方向に生じる剛性や強度の異方性を積極的に利用することが挙げられる。強度や剛性が必要な部位

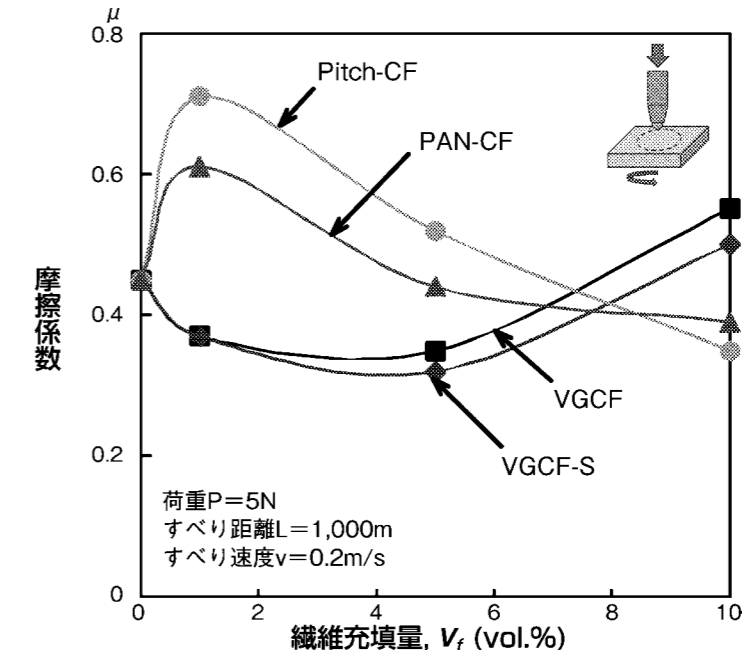


図2 各種CF強化PBT複合材料の摩擦特性

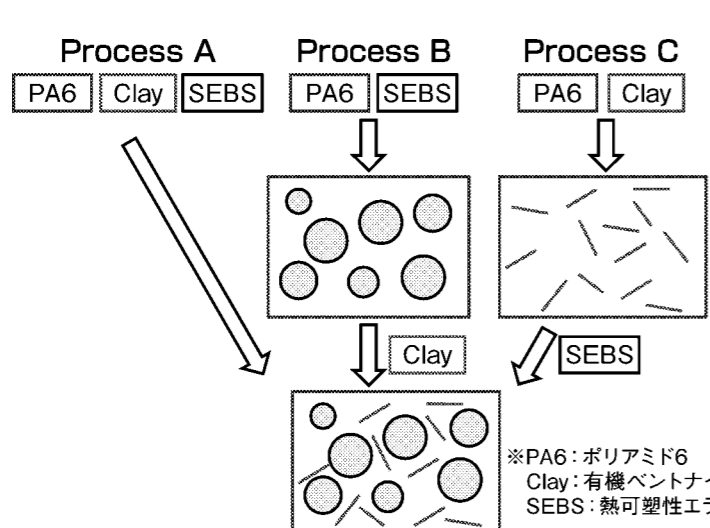


図3 成形手順の違いのイメージ

成形手順が物性に影響

第三に、成形技術としてはさまざまな成形方法があるが、基本的には用いる材料の種類や製法の異なる材料の成形手順が異なる。一方、熱硬化性樹脂系やFEMなどのツールを有効活用することが望ましい。ツブ法、オートクレーブ法、フリップ積層法などが用いられている。しかしながら、硬化反応が異なる材料の成形手順が異なるため、成形手順の影響が大きい。

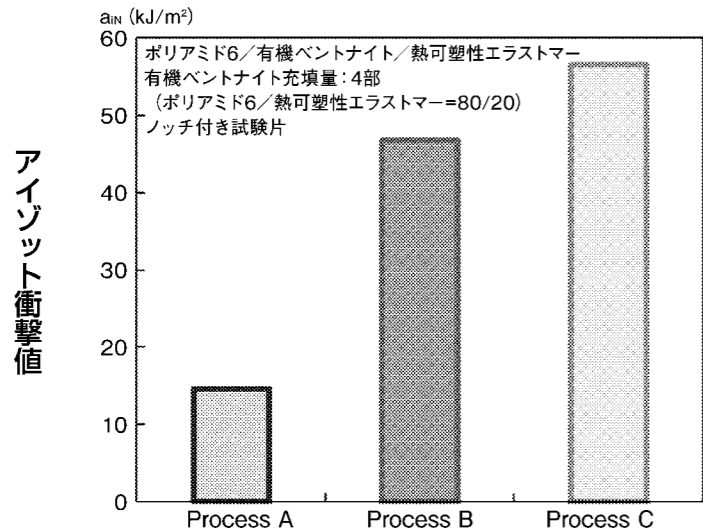
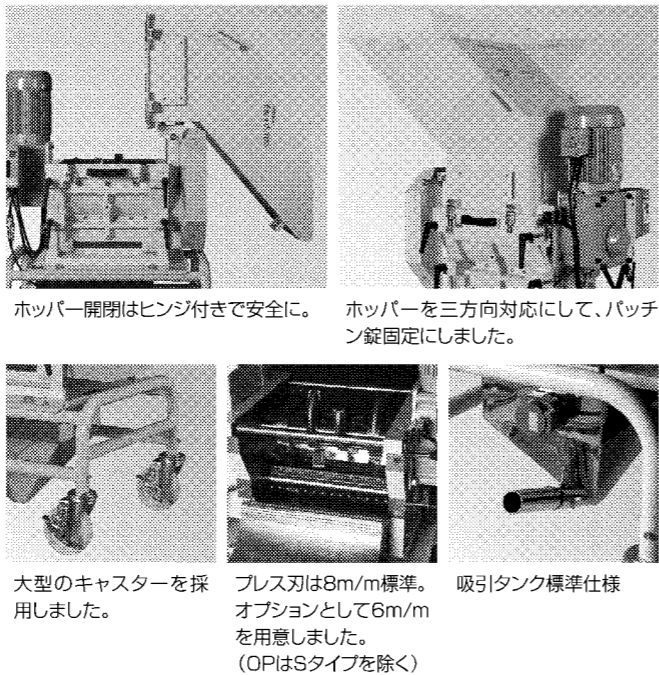
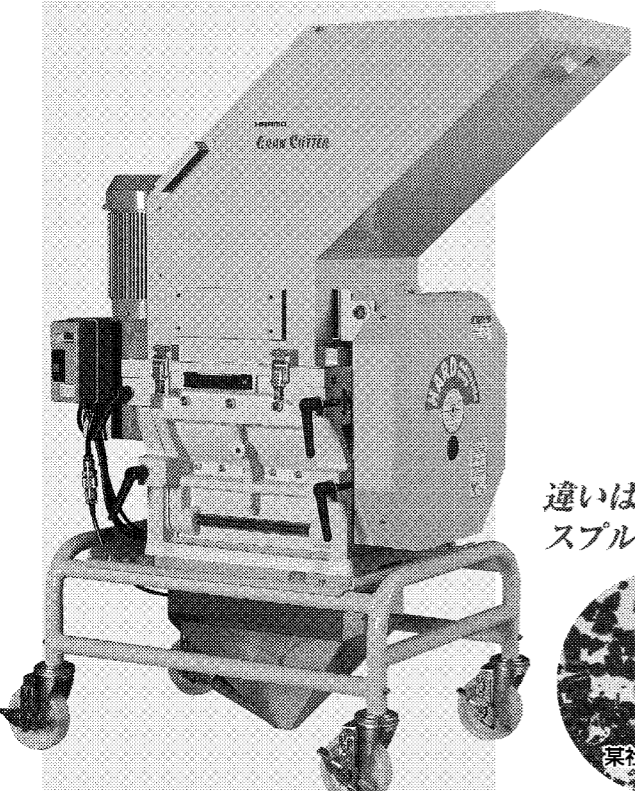


図4 衝撃特性に及ぼす成形手順の影響

が長く、また作業性も低く、またまた問題も多いのが現状である。最近では航空機や自動車などの量産品への適用を考慮して、短時間かつ低コストで成形可能な技術が盛んに研究開発されている。代表的な成形技術としては真空樹脂浸透成形(Vacuum Resin Infiltration)が挙げられる。真空圧と大気圧の差を利用して繊維や樹脂で形成した基材に樹脂を含ませた後に加熱硬化して複合材料を成形する技術であり、短時間かつ低コスト化の目的がたつた。

NEW 粒断機 SPCII-1500/SPCII-1500S

「粉碎機ではありません。粒断機です。」
 有名な粒断機に、切断可能スプル径13φの『SPCII-1500』シリーズが新登場!



違いは明らか! スプルを「粒状」に「切断」できるから粒断機なのです!

はじめて粒断機をお使いの方へ…

従来の粉砕機と比較して

- 粉の発生が非常に少ない
- ミスカットが驚くほど少ない
- 運転音が静か
- 5秒で掃除機構



beautiful & bright & best な b Series



同時展示 ● 光学/食品/メガネレンズ用ステンレス製粒断機 ● プレス刃簡単脱着機構 ● 新型タッチパネル NEW GM II Series ● ecoeco粒断機

ISO9001認証取得 株式会社ハモ IPF2011出展 小間No. 6号館 61079
 本社工場/〒399-4595 長野県伊那市南南箕輪村4124-1 TEL.0265-72-0111(代)
 総研事業部/〒399-4501 長野県伊那市西箕輪7621-10 TEL.0265-76-5061
 http://www.harmo-net.co.jp